

福祉について知ろう

4年生

## 「私たちにできること」

7月3日（水）

私たち三重小学校4年生は

「**あ**つうの **く**らしを **し**あわせに」を合言葉に、  
福祉について学習しています。



福祉のこと、介護のこと、バリアのこと、調べて分かったこともたくさんあったけど、よくわからないこともたくさんありました。そこで、実際に長与町にある「かがやき」という施設で仕事をされている「立花さん」と「原田さん」に来ていただき、話を聞く機会を設けました。話を熱心に聞く子どもたち。思い切り手を挙げて反応する子どもたち。

立花さんは高齢者の方の1日の生活とそれに伴う介護について話してくださいました。食事・着替え・トイレ・お風呂…様々な介護の中で「選んでもらうことを大事にしている。」そうです。「尊重・理解・共感」の三つを介護する側の心構えとして教えてくださいました。休み時間は疲れて眠ってしまうことが多いそうです。

原田さんはバリアフリーについて詳しく教えてくださいました。点字ブロックには2種類あります。目が不自由な人はどうやって飲み物を見分けるか知ってますか？耳が不自由な方にとっては実際にこんな風に聞こえるんですよ。など、画像や音声を使ってわかりやすく教えてくださいました。様々な工夫があることに子どもたちはびっくり。

子どもたちは実際に調べていたこともあり、とても熱心に集中して聞いていました。2時間があっという間でした。難聴者の方の聞こえ方の音声を聞いた子どもたちの感想で「話し声を聞いたときは何て言ってるかわからなかったけど、文字と一緒に聞いたときは、はっきり聞き取れました。」と書いている子がいました。相手の立場に立つ事の大事さがわかったようです。次週は車いす等の体験を予定しています。また、たくさんの方が学べますね。